
7 0 1 9. 貨物状況登録

業務コード	業務名
CCX	貨物状況登録

1. 業務概要

CYまたは保税蔵置場に蔵置されている貨物について、貨物管理番号*¹単位に事故または危険貨物等である旨を登録する。また、CYに蔵置されているコンテナについて、コンテナ番号単位に事故またはリシール後のシール番号を登録する。

事故税関通知識別コードに税関への通知を要する旨が入力された場合は、税関による「事故貨物確認登録(DMC)」業務が行われる必要がある。

(＊1) 貨物管理番号とは、B/L番号(CT-B/L番号を含む。)または輸出管理番号のことをいう。

2. 入力者

保税蔵置場、CY

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物情報DBチェック

貨物管理番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された貨物管理番号に対する貨物情報DBが存在すること。
- ②入力者の管理する保税地域に蔵置中であること。
- ③削除表示が設定されていないこと。
- ④貨物差止め登録で差し止められた貨物でないこと。
- ⑤貨物手作業移行登録がされていないこと。
- ⑥訂正保留中でないこと。
- ⑦輸入許可済でないこと。(蔵置場所が蔵入承認済貨物の貨物管理を行う蔵置場としてシステムに登録されている場合における蔵入承認済を除く。)
- ⑧「貨物取扱登録(改装・仕分け)(SHS)」業務または「貨物情報仕分け(CHJ)」業務により仕分親となっていないこと。
- ⑨「貨物取扱登録(仕合せ)(CHU)」業務により仕合親となっていないこと。
- ⑩混載仕分けされた親でないこと。
- ⑪事故情報の登録の場合でかつ、既に他の税関要通知の事故情報が登録されている場合は、税関による事故確認登録がされていること。

(4) コンテナ情報DBチェック

コンテナ番号が入力された場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力されたコンテナ番号に対するコンテナ情報DBが存在すること。
- ②入力者の管理する保税地域に蔵置中であること。
- ③貨物差止め登録で差し止められたコンテナでないこと。

- ④事故情報の登録の場合でかつ、既に他の税関要通知の事故情報が登録されている場合は、税関による事故確認登録がされていること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-000000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-000000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 貨物情報DB処理

(A) 貨物管理番号が入力された場合

①事故または危険貨物等情報が入力された旨を登録する。

②事故税関通知識別コードに税関への通知を要する旨の入力があり、かつ輸入申告等^{*3}、輸出申告等^{*4}、保税運送申告または包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録を、搬入予定保税地域での「搬入確認登録(保税運送貨物)(B I A)」業務、「C Y 搬入確認登録(C Y A)」業務を契機に自動起動する旨が登録されている場合は、その旨を取り消す。

(B) コンテナ番号が入力されコンテナ詰めされている貨物が存在する場合

事故税関通知識別コードに税関への通知を要する旨の入力があり、かつ輸入申告等、輸出申告等、保税運送申告または包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録を、搬入予定保税地域でのB I A 業務、C Y A 業務を契機に自動起動する旨が登録されている場合は、その旨を取り消す。

(* 3) 輸入申告等とは、輸入申告、輸入(引取)申告、蔵入承認申請、移入承認申請、総保入承認申請、展示等申告及び蔵出輸入(引取)申告のことをいう。

(* 4) 輸出申告等とは、輸出申告及び積戻し申告のことをいう。

(3) コンテナ情報DB処理

コンテナ番号が入力された場合は、事故またはリシール後のシール番号を登録する。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(5) 注意喚起メッセージ出力処理

事故税関通知識別コードに「Z」が入力され、かつ入力されたコンテナ番号に関連付けられた貨物管理番号が101件以上存在する場合、内部処理を実行している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。詳細は、後述7. を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
危険貨物等通知情報	危険貨物等コード（税関要通知）が入力された場合	税関 （保税担当部門）
搬入時自動起動取消通知情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）事故税関通知識別コードに「Z」が入力された （２）以下のいずれかの旨が登録されている ・搬入時申告（輸入申告等、輸出申告等、保税運送申告） ・包括保税運送承認に係る個別運送情報登録の搬入時自動起動	搬入時申告登録者
		包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録者
事故貨物通知情報	事故税関通知識別コードに「Z」が入力された場合	税関 （保税担当部門）
	貨物管理番号が入力された場合は、当該貨物が以下の条件をすべて満たすとき出力する。またコンテナ番号が入力された場合は、コンテナ詰めされている貨物が以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）事故税関通知識別コードに「Z」が入力された （２）以下のいずれかの条件を満たす ・輸入申告等済 ・輸出申告等済（ただし、保税地域等に搬入される前に輸出申告（別送品輸出申告を含む）が行われた貨物（搬入後処理未済）を除く） ・入力者が管理する保税地域を発送地とする保税運送申告または包括保税運送承認に係る個別運送情報が登録されている	各申告を行った利用者 包括保税運送承認に係る個別運送情報の登録者

7. 特記事項

事故税関通知識別コードに「Z」が入力され、入力されたコンテナ番号に関連付けられた貨物管理番号が101件以上存在する場合、多量の輸出管理番号等処理する可能性があるため、以下の処理の流れとなる。

- ①入力チェック処理及びDB処理をした後、処理結果通知等の出力処理を行う。なお、内部処理を実行している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に併せて出力する。
- ②多量の輸出管理番号等に対して、一定の小さな処理単位に分割してDB処理等の内部処理を行う。
- ③すべての輸出管理番号等に対する内部処理が完了した後、搬入時自動起動取消通知情報等の出力処理を行う。